

2022年6月23日

受益者の皆様へ

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

投資信託約款の変更（予定）に関する書面決議のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、追加型証券投資信託「インベスコ 世界インカム不動産ファンド（毎月決算型）」（以下「ファンド」といいます。）および親投資信託「インベスコ 世界インカム不動産 マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）につきまして、下記の通り投資信託約款の変更を予定しておりますのでお知らせいたします。

このお知らせは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（以下「投信法」といいます。）の規定に基づく法定手続きの一環として、対象となる受益者（本件においてはファンドの受益者を対象とし、マザーファンドの投資投資信託約款の変更も兼ねるものとします。）の皆様にお送りするものです。

この投資信託約款の変更につきましては、投信法の規定に従い、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）をもって行います。つきましては、このお知らせおよび「書面決議参考書類」をお読みいただき、本議案（投資信託約款の変更）に対する賛否および必要事項を同封の「議決権行使書面」にご記入の上、弊社までご返送ください。

なお、本議案について議決権を行使されない場合（議決権行使書面のご返送がない場合）は、投資信託約款の規定に基づき賛成されたものとして取り扱われますので、本議案に賛成の受益者の方は、書面決議に関する手続きをされる必要はございません。

何卒、ご理解を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

記

1. 予定している変更の内容および理由

[変更の内容]

ファンドがマザーファンドへの投資を通じて実質的に主要投資対象としている投資信託証券（マザーファンドが主要投資対象としている投資信託証券を示します。以下「投資対象ファンド」といいます。）の入れ替えを行うため、所要の変更を行います。また、これに伴い、ファンドおよびマザーファンドの投資信託約款中「運用の基本方針」に掲げる「基本方針」、「運用方法」等の記載に必要な変更を行います。併せてファンドおよびマザーファンドの名称を変更いたしません。

[変更の理由]

投資対象ファンドを通じたファンドの実質的な投資対象資産は、従来、「世界の不動産関連株式」がその中心でしたが、本変更により「世界の不動産関連株式・インフラストラクチャー関連株式・自然資源関連株式・森林関連株式」となり、主たる投資対象資産は様々な実物資産（リアル資産）関連株式へと拡大いたします。

本変更は、昨今および今後の投資環境を鑑みた結果、投資対象資産の拡大により多様な投資機会を幅広くとらえることを可能とし、信託財産の成長に資するものと考えております。

なお、本変更は投信法に規定される投資信託約款の重大な内容の変更に該当すると判断しております。

（上記内容については、「書面決議参考書類」1. 投資信託約款の変更の案 もご参照ください。）

2. 書面決議の手続きおよび日程

① 受益者および受益権口数の確定	: 2022年6月23日
② 書面による議決権の行使受付最終日	: 2022年7月20日
③ 書面決議の日	: 2022年7月21日
④ 投資信託約款の変更適用日	: 2022年7月29日

書面決議の手続きは、ファンドの受益者を対象とします。2022年6月23日現在の受益者（2022年6月21日までに取得申込みをされた方）は、上記②の日までにインベスコ・アセット・マネジメント株式会社に対し、同封の議決権行使書面をもって、本議案に対して議決権を行使することができます。

本議案にかかる書面決議は、議決権を行使できる受益者の議決権の3分の2以上の賛成をもって可決されません。

本議案が可決された場合は、2022年7月29日付で投資信託約款の変更を適用いたします。

本議案が否決された場合は、投資信託約款の変更は行いません。

なお、書面決議の結果は、弊社ホームページ（<https://www.invesco.com/jp/ja/>）に掲載いたします。

3. 書面決議の方法について

同封の「議決権行使書面」に、投資信託約款の変更に対する賛否および必要事項をご記入の上、返信用封筒（切手貼付済）にて、2022年7月20日までに弊社宛にご郵送ください。（2022年7月20日弊社到着分までを有効とさせていただきます。）

なお、本議案について議決権を行使されない場合（議決権行使書面のご返送がない場合）は、投資信託約款の規定に基づき賛成されたものとして取り扱われますので、本議案に賛成の受益者の方は、書面決議に関する手続きをされる必要はありません。

[ご注意事項]

- ・議決権を行使される場合は、必ず同封の「議決権行使書面」をご使用ください。
- ・同一の受益者の方が本議案について、重複して議決権を行使された場合で、議決権の行使の内容が異なる場合は、すべての議決権に関して無効といたします。
- ・本議案についての賛否を記載する欄に記載がない議決権行使書面をご提出された場合は、賛成されたものとして取り扱います。
- ・本議案にあたり、受益者の皆様に関する情報につきましては、取扱販売会社および弊社で共有させていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

«個人情報の取り扱いについて»

議決権行使書面にご記入いただいた内容（個人情報）は、この度の議案にかかる書面決議の手続きのみを利用目的とし、他の目的には使用いたしません。なお、当該個人情報は、弊社のプライバシーポリシーに則ってお取り扱いいたします。当該ポリシーにつきましては、弊社ホームページ[<https://www.invesco.com/jp/ja/>]をご参照ください。

4. 反対受益者の受益権買取請求の不適用について

本議案が可決され投資信託約款の変更を行う場合において、投信法に定める反対受益者の買取請求の規定の適用を受けないこととなっております。なお、投資信託約款の変更に反対したか否かにかかわらず、取扱販売会社においては、通常通り、ファンドの換金のお申し込みを受け付けます。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせダイヤル 電話番号03-6447-3100（営業日の午前9時から午後5時まで）

書面決議参考書類

1. 投資信託約款の変更の案

追加型証券投資信託 インベスコ 世界インカム不動産ファンド（毎月決算型）

投資信託約款 新旧対照表

下線部 は変更部分を示します。

新	旧
<p>ファンドの名称（信託約款中の名称記載箇所共通） インベスコ <u>リアル資産成長</u>ファンド（毎月決算型）</p>	<p>ファンドの名称（信託約款中の名称記載箇所共通） インベスコ <u>世界インカム不動産</u>ファンド（毎月決算型）</p>
<p>運用の基本方針</p> <p>1. 基本方針 この投資信託は、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(1) 投資対象 「インベスコ <u>リアル資産成長</u> マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券および「インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」の受益権を主要投資対象とします。</p> <p>(2) 投資態度</p> <p>① マザーファンド受益証券を通じて、別に定める投資信託証券へ投資し、<u>日本を含む世界のリアル資産関連株式</u>^{※1}に実質的に投資します。</p> <p>※1 ファンドにおいて、リアル資産関連株式とは、不動産・インフラストラクチャー・自然資源・森林といった資産の保有等による賃貸料、使用料および売買等が主な収益源泉となり、安定した収益基盤を有する企業が発行する株式を示します。リアル資産関連株式には、①不動産関連株式（不動産企業が発行する株式、ならびに不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）が発行する不動産投資信託証券^{※2}および株式）、②インフラストラクチャー関連株式、③自然資源関連株式、④森林関連株式などが含まれます。</p> <p>※2 一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。</p> <p>②～⑥ <略></p>	<p>運用の基本方針</p> <p>1. 基本方針 この投資信託は、<u>安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長</u>を図ることを目標として運用を行います。</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(1) 投資対象 「インベスコ <u>世界インカム不動産</u> マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券および「インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」の受益権を主要投資対象とします。</p> <p>(2) 投資態度</p> <p>① マザーファンド受益証券を通じて、別に定める投資信託証券へ投資し、<u>世界の不動産関連企業</u>^{※1}、<u>不動産投資信託および不動産投資法人</u>^{※2}（類似のものを含みます。）などが発行する<u>株式、株式関連証券</u>^{※3}、<u>不動産投資信託証券</u>^{※4}および<u>債券</u>^{※5}に実質的に投資します。</p> <p>※1 不動産関連企業とは、不動産関連事業からの収入が大半を占める企業をいいます。</p> <p>※2 不動産投資信託および不動産投資法人を総称して、「不動産投資等」または「REIT」ということがあります。</p> <p>※3 株式関連証券には、優先証券を含みます。</p> <p>※4 一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。</p> <p>※5 債券には、商業用不動産ローン担保証券（CMBS）を含みます。</p> <p>②～⑥ <同左></p>

新	旧
<p>(有価証券および金融商品の指図範囲等)</p> <p>第16条 委託者は、信託金を、主としてインベスコ・アセット・マネジメント株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託「<u>インベスコ リアル資産成長 マザーファンド</u>」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券およびインベスコ・アセット・マネジメント株式会社を委託者とし三菱UFJ信託銀行株式会社を受託者として締結された追加型証券投資信託「<u>インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)</u>」の受益権のほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することができます。</p> <p><略></p> <p>②～③ <略></p>	<p>(有価証券および金融商品の指図範囲等)</p> <p>第16条 委託者は、信託金を、主としてインベスコ・アセット・マネジメント株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託「<u>インベスコ 世界インカム不動産 マザーファンド</u>」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券およびインベスコ・アセット・マネジメント株式会社を委託者とし三菱UFJ信託銀行株式会社を受託者として締結された追加型証券投資信託「<u>インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)</u>」の受益権のほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することができます。</p> <p><同左></p> <p>②～③ <同左></p>
<p>(付表)</p> <p>1. 運用の基本方針に規定するマザーファンド受益証券を通じて投資する「別に定める投資信託証券」とは、次のものをいいます。</p> <p>ルクセンブルグ籍外国投資法人：インベスコ グローバル・インカム・リアル・エステート・セキュリティーズ・ファンド クラスC-QD投資信託証券(米ドル建て)</p> <p><u>ルクセンブルグ籍外国投資法人：インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券(米ドル建て)</u></p>	<p>(付表)</p> <p>1. 運用の基本方針に規定するマザーファンド受益証券を通じて投資する「別に定める投資信託証券」とは、次のものをいいます。</p> <p>ルクセンブルグ籍外国投資法人：インベスコ グローバル・インカム・リアル・エステート・セキュリティーズ・ファンド クラスC-QD投資信託証券(米ドル建て)</p>

親投資信託 インベスコ 世界インカム不動産 マザーファンド

投資信託約款 新旧対照表

下線部 〰 は変更部分を示します。

新	旧
<p>ファンドの名称（信託約款中の名称記載箇所共通） インベスコ <u>リアル資産成長</u> マザーファンド</p>	<p>ファンドの名称（信託約款中の名称記載箇所共通） インベスコ <u>世界インカム不動産</u> マザーファンド</p>
<p>運用の基本方針</p> <p>1. 基本方針 この投資信託は、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。</p> <p>2. 運用方法 (1) 投資対象 <略> (2) 投資態度</p> <p>① 別に定める投資信託証券への投資を通じて、<u>日本を含む世界のリアル資産関連株式</u>※¹に実質的に投資します。</p> <p>※ 1 <u>ファンドにおいて、リアル資産関連株式とは、不動産・インフラストラクチャー・自然資源・森林といった資産の保有等による賃貸料、使用料および売買等が主な収益源泉となり、安定した収益基盤を有する企業が発行する株式を示します。リアル資産関連株式には、①不動産関連株式（不動産企業が発行する株式、ならびに不動産投資信託および不動産投資法人（類似のものを含みます。）が発行する不動産投資信託証券※²および株式）、②インフラストラクチャー関連株式、③自然資源関連株式、④森林関連株式などが含まれます。</u></p> <p>※ 2 <u>一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券</u>をいいます。</p> <p>②～⑤ <略></p>	<p>運用の基本方針</p> <p>1. 基本方針 この投資信託は、<u>安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長</u>を図ることを目標として運用を行います。</p> <p>2. 運用方法 (1) 投資対象 <同左> (2) 投資態度</p> <p>① 別に定める投資信託証券への投資を通じて、<u>世界の不動産関連企業</u>※¹、<u>不動産投資信託および不動産投資法人</u>※²（類似のものを含みます。）などが発行する株式、株式関連証券※³、<u>不動産投資信託証券</u>※⁴および<u>債券</u>※⁵に実質的に投資します。</p> <p>※ 1 <u>不動産関連企業とは、不動産関連事業からの収入が大半を占める企業をいいます。</u></p> <p>※ 2 <u>不動産投資信託および不動産投資法人を総称して、「不動産投資等」または「REIT」ということがあります。</u></p> <p>※ 3 <u>株式関連証券には、優先証券を含みます。</u></p> <p>※ 4 <u>一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券</u>をいいます。</p> <p>※ 5 <u>債券には、商業用不動産ローン担保証券（CMBS）を含みます。</u></p> <p>②～⑤ <同左></p>
<p>（付表）</p> <p>1. 運用の基本方針および信託約款第13条第1項に規定する「別に定める投資信託証券」とは、次のものをいいます。</p> <p>ルクセンブルグ籍外国投資法人：インベスコ グローバル・インカム・リアル・エステート・セキュリティーズ・ファンド クラスC-QD投資信託証券（米ドル建て）</p> <p><u>ルクセンブルグ籍外国投資法人：インベスコ レスポンシブル・グローバル・リアル・アセット・ファンド クラスC-Acc投資信託証券（米ドル建て）</u></p>	<p>（付表）</p> <p>1. 運用の基本方針および信託約款第13条第1項に規定する「別に定める投資信託証券」とは、次のものをいいます。</p> <p>ルクセンブルグ籍外国投資法人：インベスコ グローバル・インカム・リアル・エステート・セキュリティーズ・ファンド クラスC-QD投資信託証券（米ドル建て）</p>

2. 受益権の内容の変更または受益権の価値への影響の内容および相当性

本変更は該当事項はありません。

3. 投資信託約款の変更がその効力を生ずる日

2022年7月29日

4. 投資信託約款の変更の中止に関する条件

本書面決議において、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる賛成を得られない場合には、本投資信託約款の変更は中止されます。

5. 投資信託約款の変更をする理由

投資対象ファンドを通じたファンドの実質的な投資対象資産は、従来、「世界の不動産関連株式」がその中心でしたが、本変更により「世界の不動産関連株式・インフラストラクチャー関連株式・自然資源関連株式・森林関連株式」となり、主たる投資対象資産は様々な実物資産（リアル資産）関連株式へと拡大いたします。

本変更は、昨今および今後の投資環境を鑑みた結果、投資対象の拡大により多様な投資機会を幅広くとらえることを可能とし、信託財産の成長に資するものと考えております。

なお、上記に掲げた本変更は、投資信託約款の重大な内容の変更に該当すると判断しております。

6. 投資信託約款の変更に関する事項について受益者の不利益となる事実

本変更は該当事項はありません。